

テーマ

朝15分の帯活動による

情報モラル学習の指導の在り方

学年（教科・領域・活動）

全学年（学級活動・総合的な学習の時間）

学習活動の概要

朝の15分間（初回と最終回は45分間）で行う情報モラルに関する年間指導計画を作成し、それを基に意図的に情報モラルの指導を行う。

年間指導計画には「教科の位置付け」「活動名」「ねらい」「活動手順」「使用教材」の項目で指導内容をまとめている。4年生の1学期の計画は図1の通りである。

本計画の特徴は「ねらい」にあった活動手順を具体的に示したこと、活用する教材を明示したり使用教材のリンクを張り付けたりしたことである。こうすることで、全教員が指導内容と指導方法を共有し、指導者が容易に同質の指導ができる。

今年度、活用した教材は次の通りである。

- ① SNS 東京ノート①（ワークブック）
- ② SNS 東京ノート②（ワークブック）
- ③ SNS 東京ノート③（ワークブック）
- ④ 文部科学省情報化社会の新たな問題を考えるための教材（動画）
- ⑤ NHK for school「スマホリアルストーリー」@media（動画）
- ⑥ 警視庁 WEB 教室（動画）
- ⑦ みんなでかなえるサイバーセキュリティパンフレット（インターネット）
- ⑧ 子どものための個人情報保護法ハンドブック（インターネット）
- ⑨ わたしたちとじょうほう スキル（図書）
- ⑩ 私たちと情報 探求（図書）

情報活用能力

C1 コミュニケーション

C2 法と権利

C3 健康と安全

C4 ルール・マナー

C5 セキュリティ

C6 個人情報

C7 情報社会の将来

「活動名」と「ねらい」、「活動手順」、「使用教材」を明記！

各学年の初回は、必ずセキュリティを学ぶ。2回目以降は計画表にあるように7つの情報モラルのいずれかに関わる内容を学ぶ。

月	教科・活動	活動名	ねらい	活動手順	使用教材
4	学級活動 (45分間)	タブレット・パソコンを上手に活用しよう (セキュリティ)	・インターネットを活用する場合のセキュリティを理解し、ルール・マナーを考える。	①「SNS 東京ノート②」(※1)のp4~5を読み、3年生の内容を振り返る。 ②自分が使う Google 等のアカウントとパスワード(※2)を確かめ、パスワード票を見ないで入力できるようにする。	※1「SNS 東京ノート②」 https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/doc/r3/02_sns_tokyo_note2.pdf ※2 ID とパスワード票
5	総合的な学習の時間 (15分間)	SNS での伝え方・伝わり方 (コミュニケーション)	・課題を解決し、SNS 特有の伝え方や伝わり方を知る。	①「うまく伝わったかな」(※1)を視聴し、SNS の特性を知る。 ②SNS 東京ノート②」(※2)のp14の「愚口をかかれたら」を読み、課題に取り組む。	※1「うまく伝わったかな」(文科省) https://www.youtube.com/watch?v=RlyCCrB0Fp0&list=PLGpGz3mbA0d2f-4u_Mx-BCn13GywDI&index=42 ※2「SNS 東京ノート②」 https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/doc/r3/02_sns_tokyo_note2.pdf
6	総合的な学習の時間 (15分間)	ホームページで確かめること (健康と安全)	・安全にインターネットを活用するために確かめることを知る。	①「そのページ、確認しなくて大丈夫?」(※1)を視聴し、SNS の特性を知る。 ②これからインターネットを活用する時に気を付けることを考える。	※1「そのページ、確認しなくて大丈夫?」(3)教材③ そのページ、確認しなくて大丈夫? (全編) YouTube
7	総合的な学習の時間 (15分間)	情報機器と健康 (健康と安全)	・情報機器の使い過ぎによる体への影響を知り、これから自分が気を付けることは何か考える。	①「ゲームに夢中になると」(※1)を視聴し、情報機器の使い過ぎによる体への影響を知る。 ②これからの情報機器の扱い方を考える。	※1「ゲームに夢中になると」(文研) https://www.youtube.com/watch?v=41dLHgFybj0&list=PLGpGz3mbA0d2f-4u_Mx-BCn13GywDI&index=1
9	総合的な学習の時間 (15分間)	情報を集める (情報社会の将来) (セキュリティ)	・より良い情報検索を目指して、どのように検索するとよりよい情報が得られるか考える。	①「わたしたちとじょうほう スキル」(※1)のp24~25を読み、検索の方法や注意点を振り返る。 ②よりよい検索の方法と注意点を考える。	※1「わたしたちとじょうほう スキル」

使用教材の欄にある URL をクリックすると、教材の HP へ！

図1 第4学年情報モラル年間指導計画表

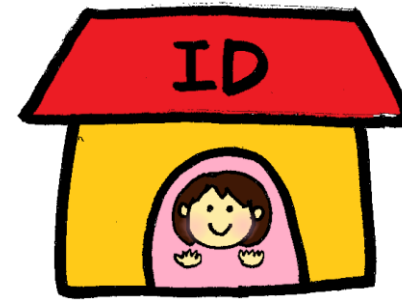


日常の学校生活の中で

「壁紙を勝手に変えていいの？」
 「休み時間にタブレットPCを使ってもいいの？」
 「勝手に写真をとられた」 などなど
 学校生活を送っていると、このような出来事が起きる。このような出来事が起きた時が、児童が自ら習得した情報モラルを活用する時である。

実践してみても出てきた疑問

「低学年の児童には、どのように情報モラルを指導すればいいのだろうか？」
 低学年の児童は、読んだり見たりするだけでは理解が不十分ではないか。何らかのアクティビティを通して学ぶなど、どのような指導の工夫が必要であるか。このような疑問を解決すべく、1年生第1回目の情報モラルの研究授業を通して、低学年の情報モラルとその指導の在り方を全教員で考えてみた。



研究授業で見たこと

- ・1年生の児童は、個人情報とパスワードを「自分の家」と「鍵」に例えた学習を通して、1年生なりにセキュリティの大切さを知った。
- ・本実践で開発した「だれかの書きこみ」や「パスワードは自分家の鍵」という教材は、1年生のセキュリティの理解につながった。このことから、低学年の児童には「自分に身近な文脈」で問題場面を設定することや抽象的な概念を何かに例えて具体として提示する工夫が必要だということが分かった。
- ・情報モラルは、道徳的価値だけではなく、情報リテラシーと関連させることが重要である。ゆえに、カリキュラムの位置付けとしては、道徳のみならず、学級活動や家庭科、社会科、総合的な学習の時間、などでも位置付け、柔軟に指導していく。

学習活動の実際

- ・毎年4月は、セキュリティとルールマナーについて、学級活動の1単位時間をかけて指導する。全ての教材の設定が終わらなかったため、Googleのログインの作業を反復させ、ID、パスワードを覚えさせる。この1時間だけでは覚えられない児童も、その後、操作をしながら覚えていった。
- ・動画教材は具体的な文脈を視覚的に捉えることができ、児童の理解が進んだ。また、動画教材の時間が決まっているため計画的に指導することもできた。東京SNSノートは内容が系統的に組み立てられていて、スパイラルに学べるよさがある。また、自分で考えた事を記録することができ、学習を積み重ねるとともに保護者と共有することもできた。ただし、15分で終わらない場合もあるので、児童の実態によって活用方法は改善していく必要がある。
- ・活動終末には「自分はこれからどうするか」という視点で振り返らせることにより、その後の実践的な態度につながった



